

# 文部科学省・経済産業省合同検討会について



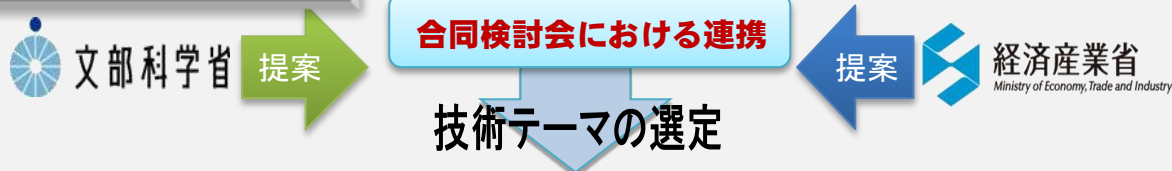
# ■ 両省連携の取組について ～文部科学省・経済産業省合同検討会～

○2030年頃の実用化を目指して取り組むべき革新的技術を特定するとともに、特定された技術の研究開発推進における文部科学省・経済産業省の役割や両省連携の仕組み等について方向性を示すため、文部科学省研究開発局・経済産業省産業技術環境局の両局長の私的勉強会として開催。

## 両省が連携すべき技術の3要素

- ①我が国経済社会に大きなインパクト(質と量)を与える技術
- ②実用化・事業化まで長期の取組が必要なリスクの高い技術
- ③我が国が強みを持ち、世界への貢献が期待される技術

## 連携体制の具体例



## ガバニング・ボード

■両省プロジェクトの主要参加者(産学官)等で構成。

基礎研究  
プロジェクト  
(文部科学省)



緊密に連携

例：高効率モーター

- 磁石特性の解明
- レアアースフリー磁石の開発
- 高性能新規磁石粉末の開発
- 新規磁石粉末によるモーター設計と評価 等

実用化研究  
プロジェクト  
(経済産業省)



◆両省のプロジェクト間の調整<総合技術科学会議と密接に連携>

実用化に向けた研究開発(経産省)、科学的深掘りを担当(文科省)

◆成果の共有や取扱いの調整

・成果公表、特許活用ルール 等

◆両省の施策の効率的推進

・設備の共用、人材の交流 等